

# 令和5年度 家庭総合 シラバス

教科・科目名	家庭科・家庭総合	単位数	2単位	対象 学科	普通科	対象学年	1年	使用教科書 (会社名)	東京書籍
--------	----------	-----	-----	----------	-----	------	----	----------------	------

科目 目標 (資 質・ 能 力)	柱書	生活の自立及び生涯を見通す見方・考え方を働かせ、SDGSの視点から実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	知識及び技能	人の一生と家族・家庭及び福祉，食生活，高齢者等について，生活を主体的に営むために必要な科学的な知識・理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
	思考力,判断力,表現力等	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
	学びに向かう力,人間性等	毎時間の授業に真摯に取り組み，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築及び生活文化の継承，自己・家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

評価の観点について ○：重点とする観点 ●：記録に残す評価

学期	月	指導項目 (内容のまとめ)	テーマ	学習内容	時 数	内容のまとめりごとの評価規準		
						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	オリエンテーション ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動	家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家庭 クラブ活動		1	家庭総合を学ぶ意義 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動について理 解している (DVD、ワークシート)	自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を 設定し，解決方法を考え，計画を立てて実践し，実践を評 価・改善して課題解決に向けた一連の活動について考察し たことを，根拠に基づいて論理的に表現している。	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について，課題の解決に主体的に取 り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとも に，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践 しようとしている。
					1			
		第1章 生涯を見通す A (1)	人生を見通す	ライフステージ 青年期の 課題	1	・人の一生について、自己と他者、社会との関りか ら様々な生き方があることを理解するとともに、 自立した生活を営むために、生涯を見通して、生 活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性 について理解を深めることができる。	生涯を見通した自己の生活について主体的に 考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び 職業生活について問題を見いだして課題を設 定し、生活資源を活用するなどして解決策を 考え、工夫し、実践を評価・改善したり、考 察したことを根拠に基づいて論理的に表現す るなどして、生涯を見通して生活の課題を解 決する力を身に付けている。	様々な生き方を理解しながら生涯の生活設計につい て考え、生活の課題解決に主体的に取り組んだり、 振り返って改善したりして、地域社会に参画しよう とするともに，生活文化を継承し，自分や家庭， 地域の生活の充実向上を図るために実践しようとし ている。
				自立度チェック	1			
		目標を持っていきる	人生年表	2	・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資 源について理解し、情報の収集・整理が適切にで きる。			
	5	第2章 人生をつくる A (2)	人生をつくる	ライフスタイルの多 様性や課題	2	・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課 題について理解するとともに、青年期の課題であ る自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性に ついて理解を深めることができる。 ・家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法 律、家庭生活と福祉などについて理解するととも に、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関 わり、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課 題について理解を深めることができる。	家庭や地域のよりよい生活を創造するため に、自己の意思決定に基づき、責任をもって 行動することや、男女が協力して、家族の一 員としての役割を果たし家庭を築くことの重 要性について、問題を見いだして課題を設定 し、て解決策を考え、工夫し、実践を評価・ 改善し、考察したことを根拠に基づいて論理 的に表現するなどして課題を解決する力を身 に付けている。	青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題 解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し たりするなどして、よりよい社会の構築に向け て、地域社会に参画するとともに，生活文化を継承し、自 分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践 しようとしている。
				家族・家庭を見つめる	2			
			これからの家庭生活と社会	ワークライフバラン ス	3			
			第10章 持続可能な生活を営む C (3)	持続可能な社会を目指して	持続可能なライフス タイルと消費	2		
	6	第6章 食生活をつくる B (1)	食生活の課題と簡単調理	食生活の改善に向け た簡単調理	3	自己の食生活を振り返り、問題点を見いだして生 活改善に努めるとともに，調理の基礎である炊飯 とみそ汁について理解を深めている。	自己の食生活を振り返り、問題点を見いだし て夏季休業中における生活の過ごし方につい て改善を深る工夫を考えている。	自己の食生活を振り返り、問題点を見いだして生活 改善を図る際に、調理の基礎である炊飯とみそ汁に ついて夏季休業を活用して実践しようとしている。
7	巻頭・各章末 ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動 D	夏季休業を利用してホームプロ ジェクトの課題設定 その解決方法について考える	課題を設定し解決の 計画を立てる	2	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動 の意義と実施方法について理解している。	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ 活動の意義と実施方法がわかり、自己の 家庭生活の課題や学校・地域の課題解決に 向け、その方法や内容等について考えよ うとしている。	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動につい て、各課題の解決に主体的に取り組む、充実向上を 図ろうとしている。	

学期	月	指導項目 (内容のまとめ)	テーマ	学習内容	時数	内容のまとめごとの評価規準・【評価方法】		
						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	9	ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動 D	ホームプロジェクトの評価と 改善	実践発表 ふり返り	1	家庭科の学習で得た知識・技能を自己の家庭 生活の改善に活用している。	自己の家庭生活の問題点を把握し、その改善 に向け、計画・実践・評価し、レポートにま とめ発表する力を身につけている。	自己の家庭生活の問題点を把握し、より良い生活の 改善を目指して取り組もうとしている。
	9 ～ 12	第6章 食生活をつくる B(1)	食生活の課題について考える	食生活を取り巻く環 境の変化	3	・食生活を取り巻く現状及びその課題、食の 安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と 人との関わりについて理解することができ る。 ・食品の栄養的特質や、健康、環境に配慮し た食生活の在り方について理解するととも に、自己と家族の食生活の計画・管理に必要 な知識・技能を身に付けている。 ・食品の調理上の性質、食品衛生について科 学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技 能を身に付けている。 ・食生活におけるSDGSの視点を理解してい る。	・自己の食生活の課題や食の安全、食に 係る日本や世界の情勢を調べたりしなが ら、食と人との関わりについて考えてい る。 ・食品の栄養的特質、健康、環境に配慮 した食生活の在り方を考え、自己と家族 の食生活について計画したり工夫したり する力を身につけている。 ・SDGSの視点で食生活を考えている。	・自己の食生活の課題や食の安全、食品の栄養 的特質、健康、環境に配慮した食生活の在り方 等について、積極的にその改善や工夫に取り組 もうとしている。 ・毎時間の授業の課題に取り組み、調理実習に おいては安全面・衛生面を理解し、適切な服 装・身なりで積極的に実習に参加している。 ・SDGSの視点で調理実習を行おうとしてい る。
			食事と栄養・食品	栄養素の種類と機 能、調理性	7			
			食品の選択と安全	安全で衛生的な食生 活	3			
			生涯の健康を見通した食事計画	ライフステージ毎の 食生活の特徴	4			
			調理の基礎	調理の基礎 調理実習	8			
			食生活の文化と知恵	郷土食・行事食 世界の食文化	2			
これからの食生活	持続可能な食生活	2						
3	1	第4章 超高齢社会を共に生きる A(4)	超高齢・大衆長寿社会の到来	超高齢社会の背景	2	・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立 生活の支援や介護について理解を深め、高齢 者の心身の状況に応じて適切に関わるための 生活支援に関する技能を身に付けている。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及 び高齢者福祉について理解を深めている。	高齢者の自立生活を支えるために、高齢 者の心身の状況に応じた適切な支援の方 法や関わり方について問題点について考 えている。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題 及び高齢者福祉について考察する力を身 につけている。	よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わり と福祉について理解しようと努め、自己や家 庭、地域の生活の充実向上を図るために実践し ようとしている。
			高齢期の心身の特徴	加齢に伴う心身の 変化と尊厳について	4			
			高齢期の自立を支える	高齢者の自立と支援 方法	4			
			これからの超高齢社会	今後の課題	2			
	2	第5章 共に生き、共に支える A(5)	私たちの生活と福祉	福祉について	1	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福 祉や社会的支援について理解することができ る。 ・家庭と地域との関わりについて理解すると ともに、高齢者や障害のある人々など様々な 人々が共に支え合って生きることの意義につ いて理解を深めている。	家庭や地域及び社会の一員としての自覚 をもち、様々な人々との関わり方につ いて問題を見いだして課題を設定し、解決 策を構想し、実践を評価・改善し、考察 したことを根拠に基づいて論理的に表現 するなどして課題を解決する力を身に付 けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向 けて、共生社会と福祉について課題の解決に主 体的に取り組んだり、振り返って改善したりし て、地域社会に参画しようとするともに、生 活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充 実向上を図るために実践しようとしている。
			社会保障の考え方	社会保障について	2			
3		共に生きる	多様性と豊かな暮ら し	2				

#### 評価方法

- ①知識・及び技能、②思考力・判断力・表現力、③学びに向かう力の3観点を、総合的に判断し評価する。
- 領域や内容による評価の観点は、上記に示す通りとする。
- プリント・レポートの提出及び実習態度(実習着、身なり等)も評価に含む。

#### 履修上の留意点

※調理実習における安全・衛生に十分注意し、器具や材料の取り扱いを適切に行ってもらおう。